

### 設楽ダムなど質疑

県議会  
代表質問



小林功氏



渡会克明氏

正経理処理、治安・防犯対策、医師確保対策、雇用対策、定額給付金、あいちトリエンナーレ2010、設楽ダム建設促進などについて県の見解をたずねた。

域全体を考え建設を受け入れてくれた。水没住民の移転や生活再建についてはできるだけだけのことをして地元の期待に応えたい」と答弁した。

(後藤康之)

2月定例県議会は27日再開。代表質問が行われ、小林功(自民・宝飯郡)、神原康正(民主・西尾市)、渡会克明(公明・豊橋市)の3氏がそれぞれ会派を代表して登壇した。

この中で小林氏は、県政運営の基本方針、中小企業支援対策と緊急雇用対策、国体冬季大会の開催、あいち森と緑づくり、設楽ダムの建設促進など県政全般について質問した。

また、渡会氏も不適

神田知事は、緊急雇用対策について「年度末に向けて非正規労働者などの離職がさらに増えることが予想される」との見込みを明らかにし、特に西三河地区に多いことから4月中下旬を自途に岡崎市の名鉄東岡崎駅前に生活・就労相談(県)と職業相談・紹介(国)を一体的に行う「求職者総合支援センター」を開設することなどの緊急対策を打ち出す考えを示した。

さらに設楽ダム建設については「設楽ダムは東三河の発展に不可欠。設楽町民も豊川流